

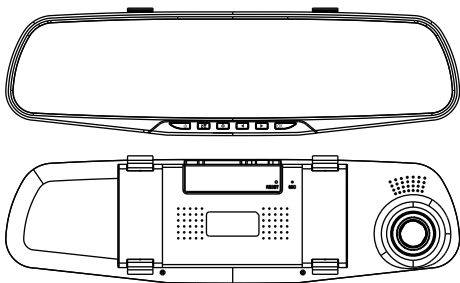
# Miti

リアカメラ付き4.3インチミラー型ドライブレコーダー

---

MI-MRD720

## 取扱説明書



### 保証書別添付

この度は、リアカメラ付き4.3インチミラー型ドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 目次

## はじめに

■安全上のご注意(必ずお守りください) .....	1
■使用上のご注意(必ずお守りください) .....	4
■商品構成一覧表 .....	5
■各部の名称と働き .....	6

## 準備

■本体の取り付け .....	8
■microSDカードについて .....	11
■電源について .....	14

## 操作方法





■緊急録画について .....	15
■動画記録モード .....	17
■静止画撮影モード .....	21
■再生モード .....	24
■パソコンで記録ファイルの読み出し .....	26

## その他

■記録時間について .....	27
■トラブルシューティング .....	28
■仕様 .....	29

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。  
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
 <b>注意</b>	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
 <b>禁止</b>	絶対にしてはいけない事項
 <b>強制</b>	必ず守るべき事項



## 警告

**必ず規定容量のヒューズを使用する  
また、交換は専門技術者に依頼する**

- ❗ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ: 2A)

**運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない**

- ⊘ 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

**取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない**

- ⊘ ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

**運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない**

- ⊘ 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

**取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する**

- ❗ 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

**コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す**

- ❗ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等をしてください。事故やけがの原因になります。

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

## 車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付け

- ❗ 車体に穴を開けて取り付けの場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

## 故障や異常のまま使用しない

- ⊘ 煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ⊘ 誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

## 使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

## 指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- ❗ 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

## DC12-24V マイナスアース車で使用する

- ⚠ DC12-24V マイナスアースの車専用です。DC12V マイナスアース車以外のお車に使用した場合、火災や故障の原因になります。

## 分解や改造はしない

- ⊘ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

## 機器内部に水や異物を入れない

- ❗ 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがからないようにご注意ください。

## 配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 ⊖ を外しておく


- ❗ バッテリーのマイナス端子 ⊖ を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

## 配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する


- ❗ 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

# 安全上のご注意(必ずお守りください)


## 車載用以外には使用しない

-  車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。


## 強い衝撃を与えない

-  落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。


## コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。


## 必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。


## 高温になる場所などに取り付けけない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。


## 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。


## 振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない

-  強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。


## 感電の原因になるので、接触禁止

-  雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

## 本機の通風孔を塞がない

-  本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

## 磁気性があるものに近づけない

-  本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

# 使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。



## 注意

### 取り付け中はエンジンを切る



本機の実機取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で行うと、感電及び故障の原因になります。

### 磁性性があるものに近づけない



本機の実機近くに磁性性があるものを置かないでください。本機の実機誤作動及び故障の原因になります。

### 画質が落ちることがあります



トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

### フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機の実機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

### 信号機の色を認識できないことがあります



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

### シガー電源アダプターについて



付属のシガー電源アダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。

### シガー電源アダプターについて



シガー電源アダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12V/24V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガー電源アダプターや本機の実機故障の原因になることがあります。

### 取付ステーの使用について



付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバックなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。

# 商品構成一覧表

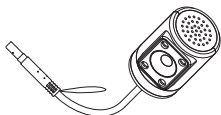
本機を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。



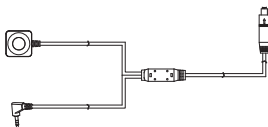
■ 4.3インチミラー型ドライブレコーダー本体



■ シガー電源アダプター



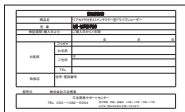
■ バックカメラ



■ 延長ケーブル  
(リアカメラ画面の切替ボタン付き)



■ 固定用バンド



■ 保証書



■ 取扱説明書



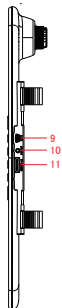
## 使用上のご注意

### 1. シガー電源アダプターについて

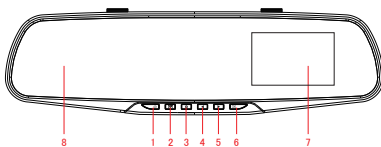
- 付属のシガー電源アダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- シガー電源アダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガー電源アダプターや本機故障の原因になることがあります。

# 各部の名称と働き

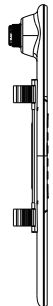
上面図



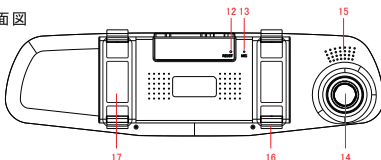
正面図



底面図



背面図



## 1.電源ボタン/液晶オフボタン

電源オンの状態で2秒以上長く押すと、電源オフになります。

電源オフの状態で押すと、電源オンになります。

液晶オンの状態で押すと液晶オフになります。液晶オフの状態では任意のボタンを押すと液晶オンになります。

## 2.メニューボタン

一回押すと各モードの設定メニューを表示します。

もう一回タッチすると、元のモードに戻ります。


※録画中はMENUボタンが動作しません。録画を停止すると動作します。

※録画を停止するには、⑥のOKボタンを押して停止してください。

## 3.モードボタン

このボタンを押すたびに、各モードを切り替えます。

 動画記録モード

 静止画撮影モード

 再生モード

録画中押すと、緊急録画を開始します。

## 4.カーソル(◀)ボタン

カーソルの移動。

動画再生中:録画を早戻します。

静止画再生中:静止画を選択します。

## 5.カーソル(▶)ボタン

カーソルの移動。

ドライブレコーダーとバックカメラ画像の表示を切り替えます。  
(延長ケーブル付きボタンを一回押すと、画面を切り替えます。)

動画再生中:録画を早送ります。

静止画再生中:静止画を選択します。



# 各部の名称と働き(つづき)

## 6.OKボタン/レコーダーボタン

設定メニュー:項目や設定値を決定します。

動画モード:録画中に押すと、録画を停止します。

録画停止中に押すと、録画を開始します。

静止画撮影モード:このボタンを押すと、写真を撮影できます。

再生モード:動画を選択して、このボタンを押すと、動画を再生/一時停止に切り替えます。

## 7.液晶モニター

4.3インチTFTフルカラー液晶

## 8.ルームミラー

## 9.miniUSB端子

付属のシガー電源アダプターを接続します。

ご注意:

本機付属のシガー電源アダプター以外は絶対に接続しないでください、正常に動作しなくなったり、故障する可能性があります。

## 10.バックカメラ入力ポート

バックカメラのケーブルを接続すると、バックモードの録画も同時にします。

## 11.microSDカードスロット

microSDカードを入れて使用します。

## 12.リセットスイッチ

本機が正しく動作しなくなった時に押してください。

ご注意:

リセットすると、本機は強制的に電源が切れます

## 13.マイク

周りの音を収集します。

## 14.レンズ

ご注意:

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

## 15.スピーカー

記録されたファイルの音声とボタン音を出力します。

## 16.取り付けステー

純正ルームミラーに取り付ける時に使用します。ステーは調整可能です。

## 17.固定用バンド

本機と純正ムールミラーを固定する時に使用します。

# 本体の取り付け

取り付けステーを使って、車の純正ルームミラーに本機を取り付けます。

## 取り付けのご注意:

本機を車に取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ミラー面に衝撃を与えないでください、破損でけがの原因になります。
- 同梱品のシガー電源アダプター以外のものを使用しないでください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガー電源アダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時などに、鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

## 取り付けかた

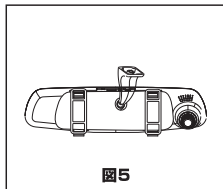
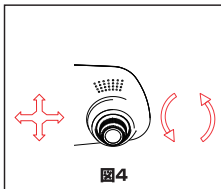
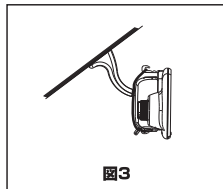
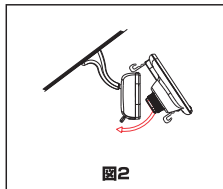
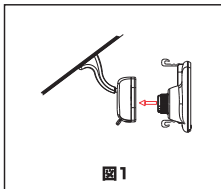
### 取り付け方法

図の番号順により取り付けてください。

1. 同梱のラバーバンド2個を使い、純正ルームミラーに本機上部のフックに取り付けます。バックミラーに本体を上からかぶせ、ラバーバンドを本体下側のフックに伸ばしてひっかけて固定します。(図1、図2、図3)

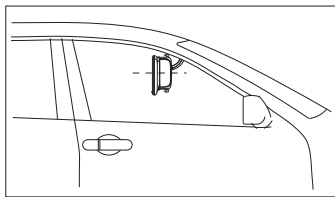
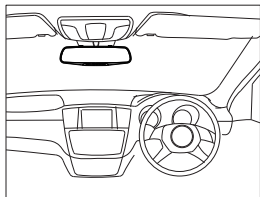
※取り付けるとき、本機が落ちる可能性があります。手で本機をしっかり支えて取り付けてください。

2. 車の進行方向にレンズの角度を調整します。(図3)
3. レンズを上下左右回すことで角度を調整できます。(図4)
4. 本機がルームミラーにしっかり装着されていることを確認のうえ、走行してください。(図5)



## 本体の取り付け(つづき)

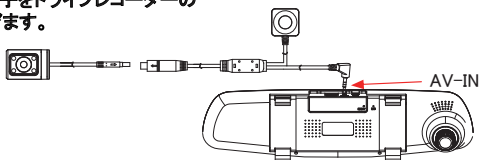
### 取り付けイメージ



- 図のように車両進行方向にカメラを向けて取り付けてください。
- 図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。
- 図のように水平が維持できないと、正しい状態で録画できません。
- 本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故などの原因になります。
- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。

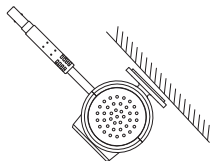
## 本体の取り付け(つづき)

1. バックカメラの端子をドライブレコーダーのAV-INポートに繋がします。



2. カメラの位置を確認します。

取り付けたい位置に合わせてカメラの角度を調整します。



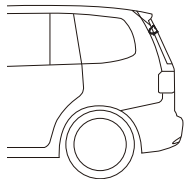
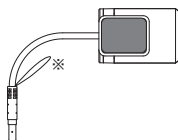
3. ブラケットを後部ガラスに貼り付けます。

カメラの角度を調整する後に、貼り付け面の汚れを良く拭き取り乾燥させたあとに、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます。

右図※の緑線を切れば、リアカメラ映像を鏡像から正像に切り替えることができます。

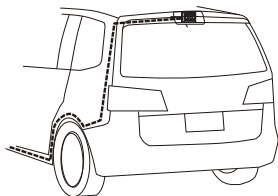
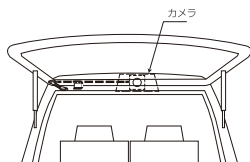
(工場出荷設定: 鏡像)

正像にて取り付ける場合、貼り付ける前に画像の上下左右を本体液晶にて確認後貼り付けてください。



4. ケーブルを配線します。

バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないか充分に確認してください。傷ができてカメラ内部に湿気や水が入り、壊れる原因となることがあります。



# microSDカードについて

## ご注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用してください。

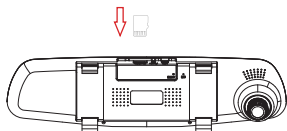
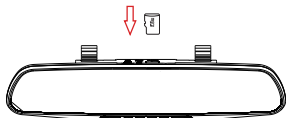
- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用するデータの破損や記録ができない恐れがあります。
- 市販のmicroSDカードによって認識しにくいものや、挿入・取り出しにくいものがあります。8GB以上、32GB以下のmicroSDカードに対応しています。SDカードのスピードは「Class6」以上です。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態でmicroSDカードを抜き差しをしないでください。
- microSDカードエラー発生時は記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットから電源アダプターを抜き、本体の電源をオフしてください。必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから、microSDカードを取り出してください。※動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと、microSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等が全て削除されます。予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。

## microSDカードの挿入と取り出し

1. microSDカードを挿入する前に、必ず本機の電源がOFFになっていることを確認してから行ってください。

※本機動作中、microSDカードの挿入・取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがあります。

2. microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。



## microSDカードについて(つづき)

3. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

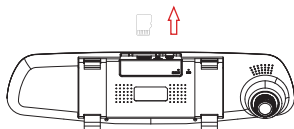
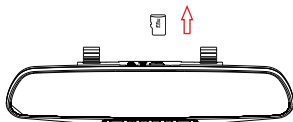
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

4. microSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

※microSDカードを取り出す前に、必ず本体の電源をOFFにしてください。

※microSDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※事故発生時に記録された映像データが壊れないように、必ず本体の電源をOFFにしてからmicroSDカードを抜いてください。



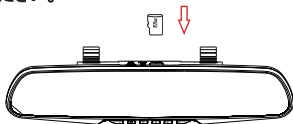
### microSDカードのフォーマット

microSDカードを初めてご使用する時、或いは保護ファイルによりカード容量がいっぱいになる時、下記の手順よりmicroSDカードをフォーマットしてください。

※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください。

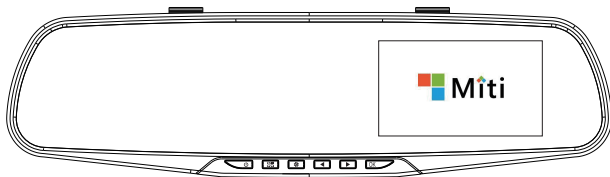
① microSDカードが挿入されていることを確認してください。

※電源がOFFの状態、microSDカードをmicroSDカード挿入口に「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



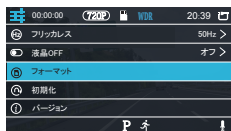
② 車両のエンジンをかけて、本体の電源を入れます。

※本機に電源が入ると、オープニング画面が表示されてから録画を開始します。



## microSDカードについて(つづき)

③録画停止中、「MENU」ボタンを押して設定メニューに入ります。



④「フォーマット」を選択し、「OK」ボタンで決定します。  
「実行」を選択し、「OK」ボタンでフォーマットを実行してください。



### ご注意

**本機を使用する前に、microSDカードを本機でフォーマットする必要があります。**

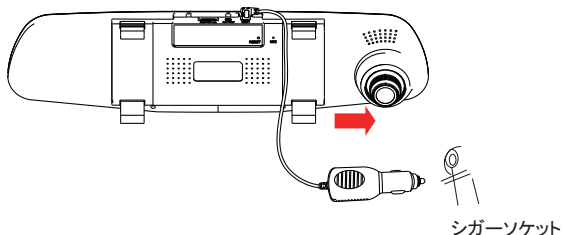
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。
- フォーマットの操作は、必ず本機が車両に固定され、本機に電源が入っている状態で行ってください。
- フォーマットする時には、内蔵電池で行わないでください。途中で電源が切れたり、フォーマットできなくなったりすると、本機やmicroSDカードの破損、故障の原因となります。必ず外部電源から電源を供給する状態で行ってください。

## 電源について

### 電源をONにするには

エンジンをかけ、シガーソケットに通電されると自動的に電源がONになります。(電源がONになると自動的に録画が始まります。)

手で電源のON/OFFを切り替えるには、本体の電源ボタンを2秒程度長押しします。



### 電源をOFFにするには

エンジンを切り、本体に電源供給がされない状態が2秒続くと、自動的に電源がOFFになります。

### AUTO OFFについて

内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中または設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にOFFになります。



# 緊急録画について

## 録画方法について

### 録画の方法: ループ録画と緊急録画

#### ●ループ録画(常時録画)

本機の設定により、1分間/2分間/3分間のループで録画します。



常時録画時は、1分間/2分間/3分間単位で続けて録画します。microSDカードの容量を超えると、古いファイルから順番に上書きされます。

1分	1分	1分	1分	1分
----	----	----	----	----

ファイル続く…

#### ●緊急録画

##### 1.緊急録画とは

録画中緊急録画ボタン[  ]を押す、あるいは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を感じると、緊急モードで録画開始します。緊急録画を開始すると、本機液晶左上に「」マークが表示されます。



##### 2.緊急録画形式

緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が違います。

(例)

※常時録画ファイル構成を「1分間」に設定時、動画①→②→③…録画し続けます。

※動画②で事故発生時、緊急録画が開始します。

※★は緊急録画の開始時点。



ファイル  
続く…



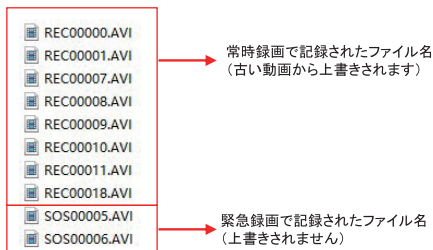
## 緊急録画について(つづき)

★1: 動画②の最初から10秒以内に事故発生、緊急録画を開始すると、動画①と動画②がロックされます。

★2: 動画②の最初・最後10秒以外に事故発生、緊急録画を開始すると、動画②だけがロックされます。

★3: 動画②の最終10秒以内に事故発生、緊急録画を開始すると、動画②と動画③がロックされます。

### 3. 緊急モードで記録されたビデオは上書きされません。



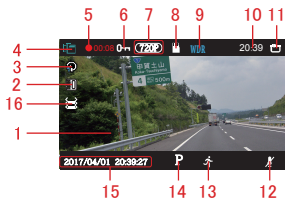
### 4. 緊急録画完了後、本機液晶左上の「」マークが消えて、常時録画に戻ります。

## ご注意

- 緊急とは、衝撃を検知した場合という意味です。
- Gセンサーがソフト(高感度)に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度がハード(低感度)に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
- microSDカードの容量を超えた場合、古い映像データから順次を上書きされます。
- 緊急録画で記録されたファイルは上書きされません。緊急録画が多くmicroSDカードの容量を超えた場合、録画ができません。保存する必要があるファイルをパソコンにコピーしてから、microSDカードをフォーマットしてください。
- 常時録画と緊急録画モードで記録されたファイル名は違います。

# 動画記録モード

## 動画記録画面



1.液晶モニター

2.露出補正アイコン

3.ループ録画モードアイコン  
1分間/2分間/3分間を表示します。

4.モードアイコン  
動画記録モードのアイコンを表示します。

5.録画中アイコン  
録画中点滅して、同時に、録画時間を表示します。

6.緊急録画中アイコン

7.解像度アイコン  
映像記録の解像度を表示します。

8. microSDカードアイコン  
microSDカードの状態を表示します。

挿入した時:  未挿入時: 

9.WDRアイコン  
WDR(ワイドダイナミックレンジ)の状態を表示します。

オンに設定する時:  を表示します。

10.日付プリント  
本機に設定された時刻を表示します。

11.電源アイコン  
通電中は点滅します。

## 動画記録モード(つづき)

### 12. 音声録音アイコン

Voice Recordの状態を表示します。

オンに設定する時:  オフに設定する時: 

### 13. 動体検知アイコン

Motion Detectをオンに設定する時に表示します。

Motion Detect機能をONにすると、録画停止中、動体検知すると自動的に録画を開始します。録画してから10秒後、自動的に録画が停止します。

※引き続き動態を検知している場合は録画をし続けます。

### 14. 駐車モード アイコン

駐車モードの状態を表示します。

オンに設定する時: 「 P 」

オフに設定する時: 「 R 」

### 15. 日付・時刻

本機に設定された日付と時刻を表示します。

### 16. G-Sensitivityアイコン

G-Sensitivityの状態を表示します。バーが3つの場合最高感度です。

## 動画記録モードの設定

録画停止中、本体の「MENU」ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。



# 動画記録モード(つづき)



項目	設定内容	説明
解像度	720P(▲)	動画記録の解像度を1280×720に選択します。
	WVGA	動画記録の解像度を800×480に選択します。
ループ録画	1分(▲)	記録動画ファイルのループ記録時間を設定します。
	2分	
	3分	
露出補正	0(▲)	数値-3、-2、-1、0、1、2、3の露出補正を設定します。
Motion Detect	<input type="checkbox"/> (▲)	<p>動体検知機能を使用するかどうかを設定します。</p> <p>※動体検知機能は本機の動画記録モードしか使用できません。</p> <p>※動体検知機能は本機に電源を入れて、動画記録モードでのスタンバイ状態のみ使用できます。</p> <p>※動体検知機能は起動してから10秒間録画します。10秒以内に続けて動体検知できなければ録画停止になります。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/>	
Voice Record	<input type="checkbox"/>	映像だけを記録します。音声を同時に記録しません。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	映像と同時に音声も記録します。
駐車モード	<input type="checkbox"/> (▲)	駐車中、本体の電源がオフの状態では衝撃を感知すると、自動的に電源がオンになり録画を開始します。
	<input checked="" type="checkbox"/>	
日付プリント	<input type="checkbox"/>	動画に設定された日付や時刻を記録するかどうかを設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	
G-Sensitivity	オフ	G-Sensorの感度を選択します。
	ソフト	
	ノーマル(▲)	
	ハード	

▲は工場出荷設定値です。

## 動画記録モード(つづき)

項目	設定内容	説明
ボタン音	<input type="checkbox"/>	ボタンのタッチ音を設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	
WDR	<input type="checkbox"/>	WDR(ワイドダイナミックレンジ)機能をオン/オフに設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	
日付/時刻	---	初期設定値は2016/07/01 「◀」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▶」ボタンで、日時の数字をダウンします。 「OK」ボタンで、設定した項目を保存します。カーソルが自動的に次の項目に移動します。
Auto off	オフ(▲)	内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中また設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
	30秒	
	1分	
	2分	
表示言語	簡体字中国語	本機メニュー表示言語を選択します。
	繁体字中国語	
	English	
	日本語(▲)	
フリッカレス	50Hz(▲)	東日本地域は50Hzに設定してください。 西日本地域は60Hzに設定してください。 ※記録撮影時にLED信号灯等のちらつきを防止し録画します。
	60Hz	
液晶OFF	オフ(▲)	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をOFFします。
	10秒	
	30秒	
	1分	
フォーマット	実行	microSDカードのフォーマットを行います。 ※microSDをフォーマットする前に、重要なデータをPCでバックアップしてください。
	キャンセル(▲)	
初期化	実行	本機すべての設定を工場出荷状態に戻します。
	キャンセル(▲)	
バージョン	---	本機のバージョンを表示します。

▲は工場出荷設定値です。

# 静止画撮影モード

## 静止画撮影画面

録画停止中に「MODE」ボタンを押すと、静止画撮影モードに入ります。  
液晶モニターで被写体を確認してから、「OK」ボタンを押すと、撮影します。



- 1.液晶モニター  
被写体を表示します。
- 2.ホワイトバランスアイコン
- 3.露出補正アイコン
- 4.モードアイコン  
静止画撮影モードのアイコンを表示します。
- 5.撮影枚数アイコン  
撮影可能数量を表示します。
- 6.解像度アイコン  
静止画の解像度を表示します。

7. microSDカードアイコン  
microSDカードの状態を表示します。

挿入した時:  未挿入時: 

- 8.日付プリントアイコン  
画像に設定された日付や時刻を表示するかどうかを設定します。

- 9.電源アイコン  
通電中は点滅します。

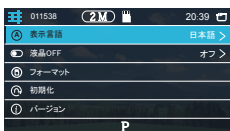
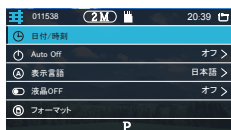
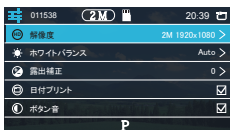
- 10.駐車モード アイコン  
駐車モードの状態を表示します。  
オンに設定する時:「 P 」  
オフに設定する時:「 R 」

- 11.日付・時刻  
本機に設定された日付と時刻を表示します。

# 静止画撮影モード(つづき)

## 静止画撮影モードの設定

静止画撮影モードで、「MENU」ボタンを押すと、静止画撮影モードの設定メニューが表示されます。



項目	設定内容	説明
解像度	2M(▲)	解像度を1920x1080Iに選択します。
	1.5M	解像度を1600x912Iに選択します。
	1M	解像度を1280x720Iに選択します。
ホワイトバランス	Auto(▲)	Auto、晴天、曇天、タングステン、蛍光灯
露出補正	0(▲)	数値3、2、1、0、-1、-2、-3の露出補正を設定します。
日付プリント	<input type="checkbox"/>	画像に設定された日付や時刻を表示するかどうかを設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	
ボタン音	<input type="checkbox"/>	ボタンのタッチ音を設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	

▲は工場出荷設定値です。



## 静止画撮影モード(つづき)

項目	設定内容	説明
日付/時刻	---	初期設定値は2016/07/01 「◀」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▶」ボタンで、日時の数字をダウンします。 「OK」ボタンで、設定した項目を保存します。カーソルが自動的に次の項目に移動します。
Auto off	オフ(▲)	内蔵バッテリーで動作する場合、設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
	30秒	
	1分	
	2分	
表示言語	簡体字中国語	本機メニュー表示言語を選択します。
	繁体字中国語	
	English	
	日本語(▲)	
液晶OFF	オフ(▲)	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をOFFします。
	10秒	
	30秒	
	1分	
フォーマット	実行	microSDカードのフォーマットを行います。 ※microSDをフォーマットする前に、重要なデータをPCでバックアップしてください。
	キャンセル(▲)	
初期化	実行	本機すべての設定を工場出荷状態に戻します。
	キャンセル(▲)	
バージョン	---	本機のバージョンを表示します。

▲は工場出荷設定値です。

# 再生モード(記録ファイルの読み出し)

## 本機の再生モード画面

撮影モードで「MODE」ボタンを押すと、再生モードに入ります。  
再生モードで、カードに記録した動画/静止画を確認できます。


### 再生モード画面



- 1.モードアイコン  
動画/静止画を表示します。
2. 保護のアイコン  
保護されたファイルのみ表示します。
- 3.microSDカードアイコン
- 4.日付プリントアイコン  
本機に設定された時刻を表示します。
- 5.電源アイコン  
通電中は点滅します。
- 6.液晶モニター
- 7.日付・時刻  
動画や静止画を撮った時の日付と時刻を表示します。
- 8.駐車モードアイコン  
駐車モードの状態を表示します。

### 動画再生中の画面

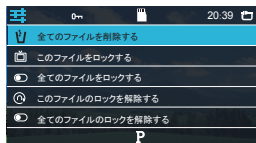
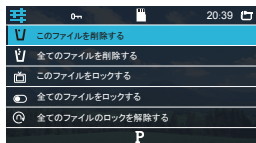


- 9.ファイル切り替えアイコン  
カーソルボタンで前/次のファイルに切り替えます。  
※動画再生中にカーソルボタンを押すことにより、2倍、4倍で早戻しと早送りができます。
- 10.中止アイコン  
動画再生中に「」ボタンを押すと、再生を中止します。
- 11.再生/一時停止状態表示
- 12.ファイル名/ファイル数  
動画や静止画のファイル名とファイル数を表示します。
- 13.再生時間  
再生している動画の進行時間を表示します。

# 再生モード(記録ファイルの読み出し)つづき

## 再生モードの設定

再生モードで、本機の「MENU」ボタンを一回押すと、再生モードの設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
削除	このファイルを削除する	選択されたファイル/全ファイルを削除します
	全てのファイルを削除する	
保護	このファイルをロックする	選択されたファイル/全ファイルをロックする
	全てのファイルをロックする	
保護解除	このファイルのロックを解除する	選択されたファイル/全ファイルのロックを解除する
	全てのファイルのロックを解除する	

# パソコンで記録ファイルの読み出し

本機に記録されたファイルをパソコンで読み出すことができます。

※本機に記録されたファイルを読み出す時に、Windows XP、Windows 7/8/10のOSを使ってください。

## MicroSDカードをパソコンと接続する

1.本機の電源OFFにしてください。

※電源ONの状態ではmicroSDカードを取り出すと本機とファイル破損の恐れがあります。

2.microSDカードを取り出して、カードリーダーに挿入してください。

※microSDカードのカードリーダーは付属しておりません。

※microSDカードは大切に保管してください。再度本機を使う前に、microSDカードを本機に挿入してください。

3.microSDカードを装着したカードリーダーをパソコンに接続して、microSDカードを開き、「DCIMB」あるいは「DCIMB」フォルダーを開きます。

「DCIMA」はドライブレコーダーが録画の動画、「DCIMB」はバックカメラが録画の動画になります。

4.再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

## 本体を直接パソコンと接続する

本機を直接パソコンに接続することができます。

1.USBケーブルで本機とパソコンを接続してください。自動的に録画モードに入ります。

約1秒後、下記の画面に入ります。

※USBケーブルは付属しておりません。

2.本機の「OK」ボタンで「Storage」を選択すると、自動的に外部ストレージを開きます。「DCIMA」あるいは「DCIMB」フォルダーを開いてください。

3.再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生してください。



## 記録時間について

本機に使用するmicroSDカードにより、記録時間が異なります。

microSD カード容量	記録時間	
	(800 × 480)WVGA	(1280 × 720)720P
8GB	約45分	約40分
16GB	約95分	約85分
32GB	約200分	約175分

- 本機は8GB以上、32GB以下のmicroSDカードに対応しています。
- 「Class 6」以上のmicroSDカードを使用してください。
- 上記記録時間は目安であり、保証値ではありません。
- 被写体や周囲環境により、記録可能な時間と件数が変化することがあります。

## トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	ここをお確かめください	こうしてください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機の電源はONになっていますか？</li> <li>●シガー電源アダプターは外れていませんか？</li> <li>●ヒューズが切れていませんか？</li> <li>●充電されていますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機の電源をONにしてください。</li> <li>●シガー電源アダプターを差し込んでください。</li> <li>●ヒューズを交換してください。(2A)</li> </ul>
誤作動をする	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機のリセットボタンを押してください。</li> <li>●本機を再起動してください。</li> <li>●再起動とリセットしても治らない場合は、電源をOFFにして、挿入しているmicroSDカードの中のデータをバックアップしてから、フォーマットして使用してください。</li> <li>●工場出荷設定に戻してください。</li> </ul>
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です、不良ではありません。 (有効画像数99.99%以上)	—
録画できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●microSDカードを装着していますか？</li> <li>●microSDカードの容量を超えていませんか？</li> <li>●microSDカードエラーが発生していませんか？</li> <li>●録画モードに切り替えましたか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●microSDカードを本体に装着しているかを確認して下さい。</li> <li>●「SDカードがいっぱい！」が表記される場合は、電源をOFFして、装着しているmicroSDカード中のデータをバックアップしてから、フォーマットして使用してください。</li> <li>●microSDカードを交換してください。</li> <li>●本機の「MODE」ボタンを押して、録画モードに切り替えてください。</li> </ul>

# 仕様

型番	MI-MRD720
商品名	バックカメラ付きミラー型ドライブレコーダー
ディスプレイ	4.3インチLCD
レンズ	100万画素カラーCMOS
視野角	D104° (H94°、V50°)
フレームレート	27 fps
バックカメラレンズ	30万画素カラーCMOS
バックカメラ視野角	D100° (H90°、V70°)
バックカメラフレームレート	30fps
録画ファイル構成	1/2/3分単位循環設定可能
動画解像度	720P 1280X720
	WVGA 800X480
バックカメラ動画解像度	720X480
静止画解像度	2M 1920X1080
	1.5M 1600X912
	1M 1280X720
バックカメラ静止画解像度	0.3M 720X480
Motion Detect	ON/OFF設定可能
音声録画	ON/OFF設定可能
G-Sensor	○
ファイル	.AVI(動画)
圧縮方式	.JPG(静止画)
電源電圧	DC5V(入力)／DC12V/24Vシガー(シガー入力)
内蔵電池	400mAh
本体寸法	304(W)*85.5(H)*39(D)mm
保存温度範囲	-10～+60°C
動作温度範囲	0～50°C
付属品	シガー(約4m)X1
	延長ケーブル(6m)X1
	取り付けバンドX2
	取扱説明書X1 ・ 保証書X1
	バックカメラ(1m)X1

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。  
 ※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

**Miti** MI-MRD720

---

輸入元:株式会社三友商事

2017.04